



取扱説明書 FLUID LIGHT

SUPAIR
34 rue Adrastée
Parc Altaïs
74650 Annecy - Chavanod
FRANCE

45°54.024'N / 06°04.725'E

www.supair.com

Japanese
Revision index: 12/09/2019



スップエアー製レスキューパラシュートをご購入頂き大変ありがとうございます。共に熱愛するパラグライディングで一緒にできることを大変うれしく思います。

スップエアーは、1982年からパラグライダー用アクセサリをデザインし、製造し、世界中に販売してきました。常にお客様のフィードバックを大切にしながら30年以上にわたる専門技術ならびに革新的デザインに裏打ちされたスップエアー製品を購入されたことは正しい選択です。我々の信条は:常に改良に努め世界中に高品質の製品を提供することです。

この説明書は、ご購入頂いたレスキューパラシュートのスペックおよび取り扱い方について説明しています。十分注意してお読みになり内容を理解して下さい。

我々のホームページ、www.supair.comを時々チェックして最新の更新情報が無いかを確認して下さい。また、お分かりにならないことがございましたら、スップエアー・ネットワークのいずれかにお問い合わせください。もちろんメールをinfo@supair.com宛てに送っていただければ、スップエアー・チームメンバーがお客様に直接お答えすることが出来ます。

楽しいフライトを！
スップエアーチーム

はじめに	4
スペック	5
構成部品および外観図	6
EN12491基準	7
使用方法	9
ソロ用レスキューの接続	11
タンデム用レスキューの接続	13
レスキューパラシュートとハーネスの接続	15
ソロ用レスキューのパッキング	16

タンデム用レスキューのパッキング	27
ラインチャート	38
メンテナンス	42
保証	43
免責条項	43
フライト装備	43
環境への配慮	43
整備履歴	44



共通する情熱の世界:フリーフライトの世界ようこそ！

フルードライト・パラシュートは、何よりも安全性および軽さを優先するパイロットの要求にこたえるもので、従来のパラシュートと比べて優れた性能:より速い開傘、より安定し、より少ない沈下速度を提供します。これは現時点で最も軽いパラシュートの一つです(Sサイズで1.10kg)。

フルードライトは、スップエアー社内の研究開発チームにより完成されました。このパラシュートは、何にも増して最適な安全性を提供する最高品質の製品です。

優れた品質と性能を提供すると実証された素材を使用しています。デザインおよび素材の選択は耐久性および品質を主眼として行われています。

フルードライトはEN 12491 および LTF 91/09 の認証を取得しています。
したがってヨーロッパ並びにドイツの安全基準に合致していることになります。

この取扱説明書を読んだら、実際のフライトをする前にシミュレーターにつり下がつてパラシュートのセッティングが正しく行われ適切に機能するかの確認試験を実施してください。

注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス



警告！



危険！！

フルードライト	Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ	タンデム
T吊り下げ重量(最小ー最大)* (kg)	65 - 90	85 - 105	100 - 125	105 - 220
重量 (kg)	1,10	1,28	1,46	2,83
面積 (m ²)	22,6	27,7	32,2	63,7
容量 (cm ³)	3 800	5 500	6 300	7 600
開傘速度 (s)	2,5	2,5	2,5	2,5
投影キャンピー高さ (m)	4,2	4,6	5,0	7,32
操縦性	なし			
調節可能性	なし			

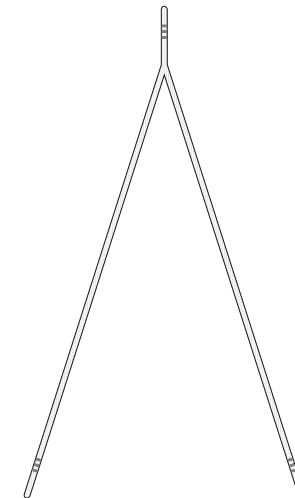
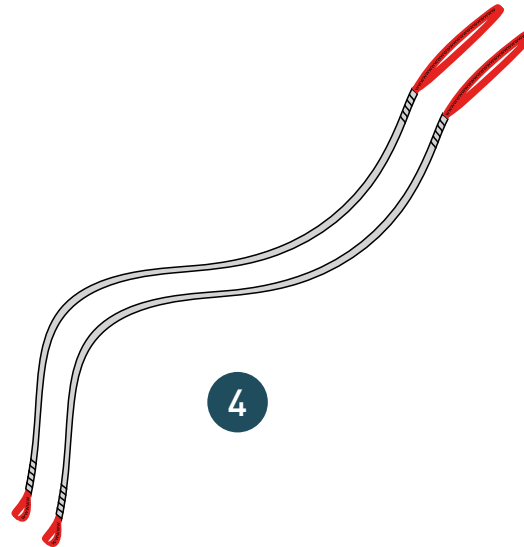
* グライダーを除く総重量

構成部品および外観図

- 1 パッキングされインナーコンテナに収納されたパラシュート
- 2 シリアル番号および製造日付の記入されたラベル
- 3 レスキューブライダル

オプション

- 4 接続用ブライダル(ダイニーマ製ソロ用ストレートタイプ)
- 5 接続用ブライダル(ダイニーマ製タンデム用Y型)
- 6 角型ラピッドリンク® 6mm
- 7 Oリング



EN12491基準の説明を以下に示します。このヨーロッパ基準(EN)は全てのパラグライディング用パラシュートに要求されています。弊社のパラシュートは全てEN基準に合致しています。

EN12491認証基準は、次のように規定されています:

一フライトテスト:安定した直線飛行状態からレスキューパラシュートを開傘します。パラグライダーとの干渉を避け、再現性を確保するためにパラグライダーを切り離します(安定性を確認するために、振り子現象が最大の時点で)。

•最大沈下速度が、着地直前の30mで計測され、パラグライダーを切り離した状態の最大吊り下げ重量で5.5m/s以下であること。

•安定性は、主観的に目視による確認(振り子状態があるかないか)と総合的な沈下速度(一般的に不安定なパラシュートは、沈下速度が大きくなる)で確認されます。

•開傘速度は5秒以下であること。

フライトテスト

ヨーロッパ基準EN12491

200 m

開傘速度+グライダー切り離し

150 m

安定性

30 m

最大吊り下げ重量時の沈下速度 ≤ 5.5 m/s



認証試験の結果はホームページで確認することが可能です。www.supair.com

強度テスト ヨーロッパ基準 EN 12491



一強度テスト:最大吊り下げ重量で水平速度40m/sで確認されます。レスキューに最大吊り下げ重量に合わせたマネキンを接続し、水平速度40m/sで飛行する飛行機から落下させ、レスキュー全体(キャンピー、サスペンションライン、ライザー)に破損が無いことを確認します。



パラグライダー用レスキューパラシュートの使用方法:

まず始めに、レスキューパラシュートを使用することは決して絶対確実なものではなく、パイロットに危険が及ばないものでもないことを強調しておきます。レスキューパラシュートは、緊急事態に於いて使用されるためにのみ存在します。

- **確実に機能するには、パイロットの重量が製造者の推奨する吊下げ重量範囲内になければなりません。**製造者の推奨する吊下げ重量範囲を逸脱してレスキューパラシュートを使用することは危険で絶対に避けなければなりません。
- このレスキューパラシュートは32m/s (115km/h) を超える速度での開傘には対応していません。
- レスキューパラシュートのライザーとハーネスの接続は、パイロットが足を下にした立った姿勢でランディング出来るようになっていなければなりません。
- レスキューパラシュートは、一連の確実な機能が働く様に認証登録された時と同じ状態であることを保証するために絶対に改造してはなりません。フルードレスキューパラシュートはスプエアーオリジナルの専用インナーコンテナ (POD) により試験され認証を取得しています。異なるインナーコンテナを使用すると異なる結果を招いたり開傘に失敗したりする恐れがあります。したがってフルードライトはスプエアーオリジナルの専用コンテナ以外を使用しないでください。
- どのようにパラシュートが動作するかを知ることは大変重要で、安全性を確保した状況 (例えばSIVコース) においてのみ実施してください。
- フルードライトはそれぞれのサイズに規定された最大吊り下げ重量範囲を決して逸脱しないようにしてください。

レスキューパラシュートの開傘:

- レスキュートグルを見る。
- しっかりとトグルを掴み、アウターコンテナあるいはハーネス内蔵コンテナからレスキューパラシュートを引き出す。
- トグルを持って、インナーコンテナを力強くパラグライダーから離れるように障害物の無い空間へ放り投げる。ブライダルとラインが伸びきるとインナーコンテナは自動的に開きます。(万が一開かない場合は、ブライダルを力強くシェイクします。)
- スクエアタイプデザインによりキャンピーは簡単・瞬時に開傘します。
- レスキューパラシュートが開傘したらパイロットはBライザーを対称に出来るだけ引き込みパラグライダーを無能力とし、パラシュートが頭上に来るようにして降下を安定させます。
- ランディングに際してパイロットは、足を柔軟にし側方に転がって衝撃を和らげる準備をします。

注: タンデム用のレスキューパラシュートには、レスキューパラシュートで降下中のシステム全体としての安定性を阻害する要因となるパラグライダーの影響を極力減らすための自動グライダー殺しシステムが装備されています。このシステム (アンドレ・ローズシステムと呼ばれる) は現時点ではソロ用レスキューパラシュートには装備されていません。

着地の準備としてパイロットは、衝撃を脚ならびに所謂パラシュートランディングフォール (PLF) と呼ばれるテクニックを使用して吸収する容易をしておかなければなりません。

着水後のレスキューパラシュートのメンテナンス:

- 着水した場合は、製造者のガイドラインに従って、レスキューパラシュートを乾かし、その後ラインをストレッチし再調整をします。
- レスキューパラシュートを直射日光の当たらない屋外の日陰で乾燥させます。
- 湿気や湿度によるナイロンの収縮を調整するためにサスペンションラインは30kg、アペックスラインは50kgの力でラインをストレッチさせます。ライン長のチェックには10kgのテンションをかけた状態で行ってください (38ページ以降のライン長チャートを参照)。
- 製造者のガイドラインにしたがってリパックをします。
- ハーネス内に正しくレスキューパラシュートを収納します。シミュレーターにぶら下がり、レスキューパラシュートの引き出し検査を行い、正しく収納されたか確認します。その後、再びハーネスにレスキューパラシュートを収納します。

注意:

EN12491基準に従って認証登録されたレスキューパラシュートは、理論的には降下速度が5.5m/s以下になります。これは1.8mの高さから飛び降りた時と同じ値になります。この沈下速度はいくつかのパラメーター（空気密度、総吊下げ重量、パラグライダーの形状、大気圧など）により大きく左右されます。

似通った特性のレスキューパラシュートを開傘した時の2つの事例があります:

-パラグライダーを無能力としたパイロットは降下速度5.2m/sで着地しました。

-一方パラグライダーを無能力にしなかったパイロットは降下速度9m/sで着地しました。これは高さ4mから飛び降りた時と同じ衝撃になります。

パラグライダーが全システム(パラグライダー・パラシュート)に与える影響は非常に重要ですが、それを予見したり定量化したりすることはできません。そのシナリオをテスト時に再現することもできません。従って、パラグライダーが無能力化されていない場合の沈下速度は認証試験で得られた値よりはるかに大きくなる危険性があります。



緊急時においてレスキューパラシュートを使用する明らかな有効性を示している統計はありますが、いつでもどこでも有効であるわけではありません。

まず初めに、あなたのレスキューパラシュートが使用するハーネスと適合しているかどうかを確認してください。何がしらかのプロテクション(パンプエアあるいはエアバッグ)を使用するハーネスの場合、まずそれらを装備した状態でレスキューパラシュートがコンテナに問題なく(ゆる過ぎたりきつ過ぎたりせずに)収納されるかどうかを確認してください。

次にあげるものが必要になります:

-1 x レスキューブライダル(ソロ用ストレート、ダイニーマ®製2本1組) (商品コード: ELESOLODYNEEMA)

-1 x 角型ラピッドリンク®7mm (商品コード: MAILCARIN7)

-5 x Oリング (商品コード: MPPP044)

>> ソロ用レスキューパラシュートの接続:ハーネスとブライダル

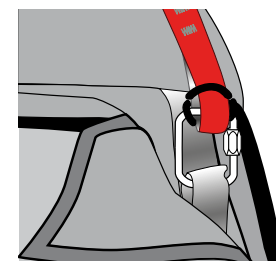
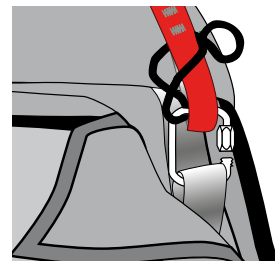
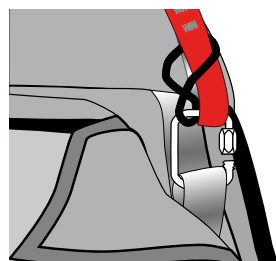
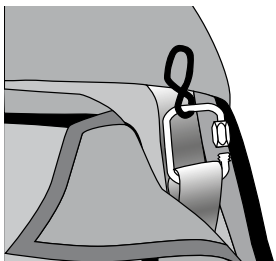
- 1**
- 2個の角型ラピッドリンク6mmと2個のOリングを用意します。
 - 肩ベルトにあるブライダル接続ループにアクセスするために肩ベルトカバーのベルクロ(あるいはファスナー)を引きはがします。

- 2**
- ラピッドリンクを開けて肩ベルトに有るループに接続します。
 - Oリングをラピッドリンクに通します。
 - Oリングを1回ひねります。

- 3**
- ひねったOリングにブライダルの片方を通しラピッドリンクに通します。

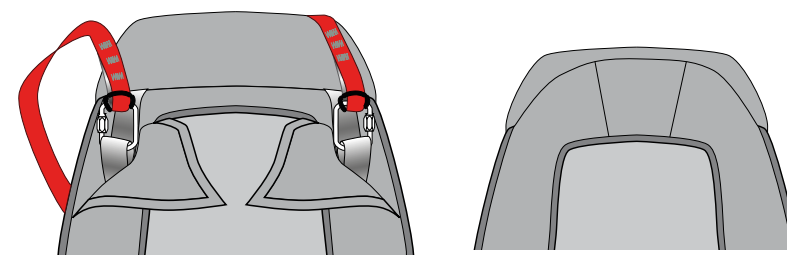
- 4**
- Oリングをもう1回ひねってラピッドリンクに通します。

- 5**
- 接続部を整えます。
 - ブライダルの端がきっちりとラピッドリンクに接続されていて容易に動かないことを確認します。
 - ラピッドリンクを手で締め上げます。
 - プライヤーでさらに1/4回転増し締めします。



- 6**
- ステップ2から5までをもう片方のブライダルに対して行います。

- 7**
- 余っているブライダルをブライダルカバーの中に整頓します
- レスキューグルを右側にセットしたい場合(右利きに推奨)は右側のカバーに。
 - あるいは左側にセットしたい場合(ハーネスがブライダルを両側に収納できるタイプであるなら左利きに推奨)は左側のカバーに。
 - 肩ベルトカバーのベルクロ(あるいはファスナー)を閉めます。



> ブライダルとレスキューパラシュートの接続:
角型ラピッドリンク7mm1個+Oリング3個が必要です。

1

- ラピッドリンクを開放します。
- Oリングをラピッドリンクに通し1回ひねります。

2

- パラシュート側のブライダルをOリングに通しラピッドリンクに通します。

3

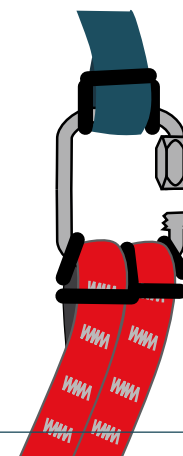
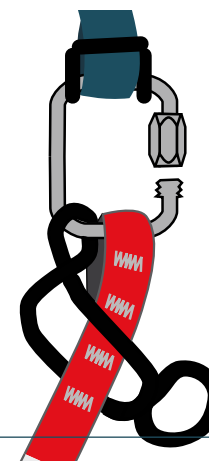
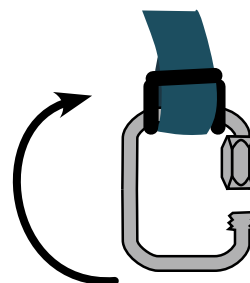
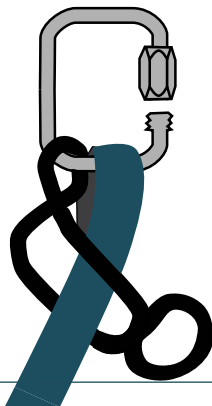
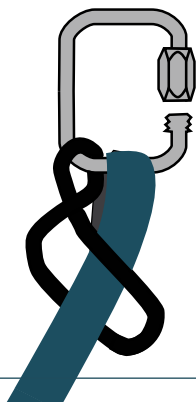
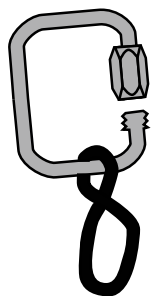
- Oリングをさらに1回ひねってからラピッドリンクに通します。

4

- 接続されたブライダルをラピッドリンクの反対側へスライドさせます。

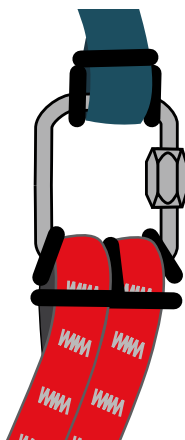
5

- ステップ1から3をハーネス側のブライダル2本に対して同様に行います。



6

- 接続部を整えます。
- 両方のブライダルが確実に接続されて容易に動かないことを確認します。
- ラピッドリンクを手で締めあげます。
- プライヤーでさらに1/4回転締めます。



タンデム用レスキューの接続

まず初めに、あなたのレスキューパラシュートが使用するハーネスと適合しているかどうかを確認してください。何がしらかのプロテクション(バンプエアールあるいはエアールバッグ)を使用するハーネスの場合、まずそれらを装備した状態でレスキューパラシュートがコンテナに問題なく(ゆる過ぎたりきつ過ぎたりせずに)収納されるかどうかを確認してください。

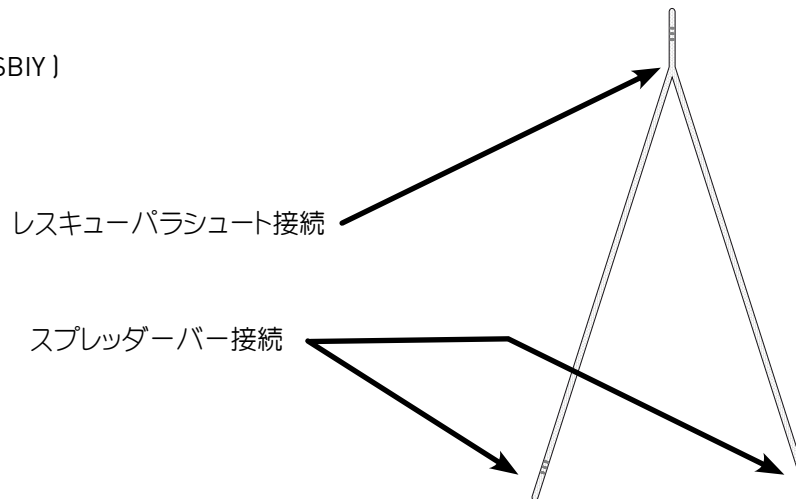
次にあげるものが必要になります:

-1 x タンデム用Y型ダイニーマ®製ブライダル (商品コード: ELESBIY)

-3 x 角型ラピッドリンク®7mm (商品コード: MAILCARIN7)

-4 x Oリング (商品コード: MPPP044)

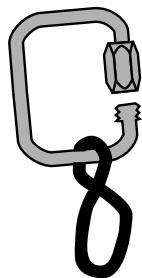
>> タンデムY型ブライダルの向き:



> Y型ブライダルとレスキューパラシュートの接続

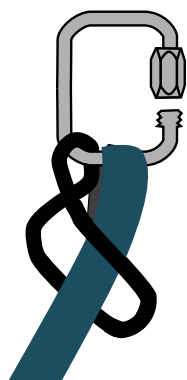
1

- ラピッドリンクを開放します。
- Oリングをラピッドリンクに通し1回ひねります。



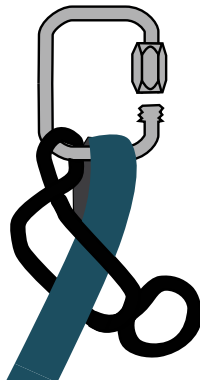
2

- パラシュート側のブライダルをOリングに通しラピッドリンクに通します。



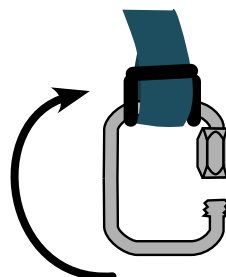
3

- Oリングをさらに1回ひねってからラピッドリンクに通します。



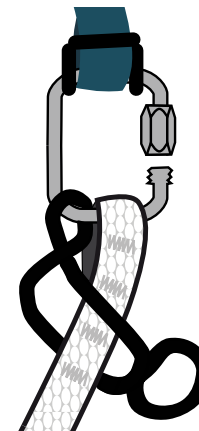
4

- 接続されたブライダルをラピッドリンクの反対側へスライドさせます。



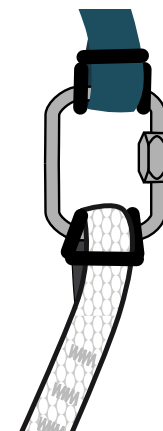
5

- ステップ1から3をY型ブライダルに対して同様に行います。



6

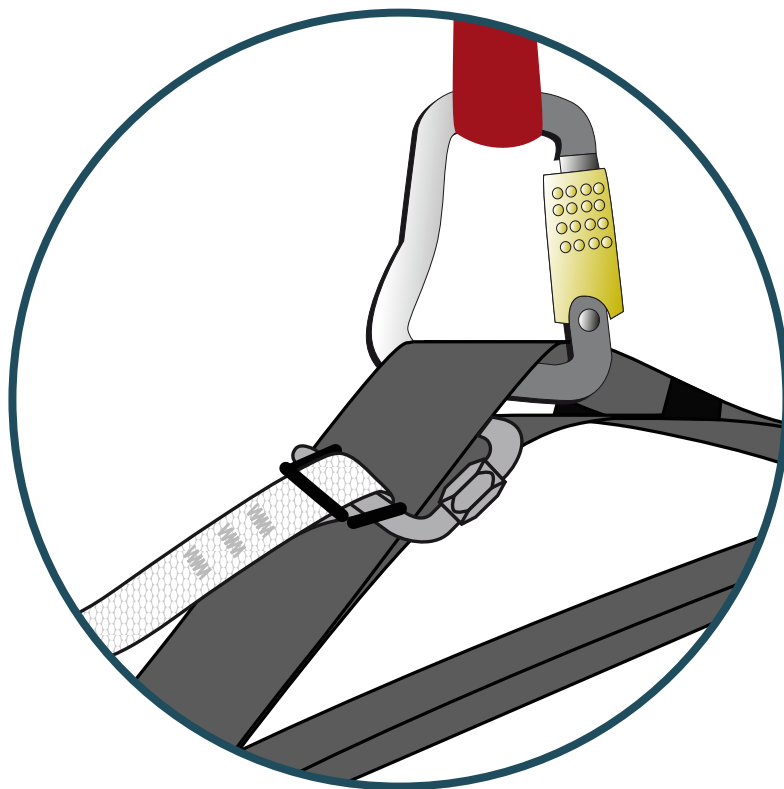
- 接続部を整えます。
- 両方のブライダルが確実に接続されて容易に動かないことを確認します。
- ラピッドリンクを手で締めあげます。
- プライヤーでさらに1/4回転締めます。



タンデム用レスキューの接続

>> スプレッターバーとY型ブライダルの接続

- 1 角型ラピッドリンク®7mm2個とOリング2個が必要です
- 2 前頁で示した方法と同様にしてY型ブライダルをスプレッターバーの所定の位置に接続します。



Y型ブライダルの一方



レスキューパラシュートとハーネスの接続

▶レスキューパラシュートをコンテナに収納する(ソロおよびタンデム)

あなたのコンテナがアウターフロントコンテナあるいはハーネスに組み込まれたレスキューコンテナかにかかわらずコンテナあるいはハーネスの製造者のガイドラインに従って収納してください。



パラシュートを収納したらシミュレーターにぶら下がって、引き出しテストを必ず行ってください。

引き出しテストはハーネスが完全に装備された状態で行ってください。例えばハーネスが脱着可能なプロテクションが装備されているならば、引き出しテストの前にプロテクションを装備してからテストを実施してください。

パラシュートのリパックおよび収納は資格のある専門家に行ってもらうことを強く推奨します。

システムが適切に機能することを確認するために、引き出しテストは6か月ごとに実施してください。

注意:シミュレーターにぶら下がって引き出しテストをするのに際し、パラシュートを開傘する必要はありません。コンテナからインナーコンテナに収納されたパラシュートが引き出される場所までOKです。

アドバイス: 速い開傘速度および構造の健全性を確認するためにレスキューパラシュートは6か月ごとにリパックする必要があります。このリパックの機会を利用してパラシュートの引き出しテストをすることが推奨されます。



パラシュートのパッキング方法はこの取扱説明書、ハーネスへの収納はハーネスの取り扱い説明書にしたがって行ってください。

ソロ用レスキューのパッキング



レスキューパラシュートのパッキングはそれほど難しいものではありませんが、周到で正確なたたみ方が要求されます。自分自身でパッキングするのが不安であるなら、専門家あるいは適切な技能を持ったもののアドバイスを受けて下さい。

注意:パッキングする機会にレスキューパラシュートの引き出し試験をすることをお勧めします。

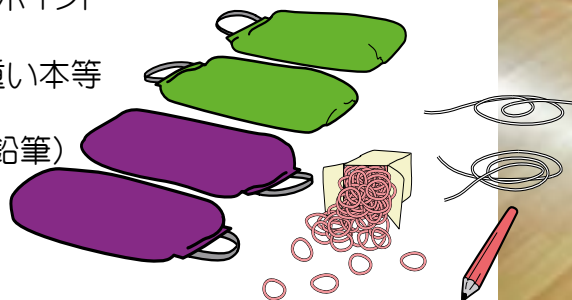
パッキングに際し、常に以下の事項に注意して下さい：

- 注意深く各ラインをキャンピーからライザーまで破損していないか確認。
- 最低でも12時間キャンピーを乾燥させる(直射日光やパラシュートを汚染するような化学物質が存在する場所を避けること)。
- キャンピー生地破損や汚染が無い確認。
- インナーおよびアウトターコンテナの状態を確認。レスキュートグルがインナーコンテナに正しく取り付けられているか確認。
- インナーコンテナのフラップ止め用ゴムループの状態を確認。
(もし破損していたり、おかしいようなことを発見したら、専門の修理工場あるいはメーカーに送って検査を行って下さい。)

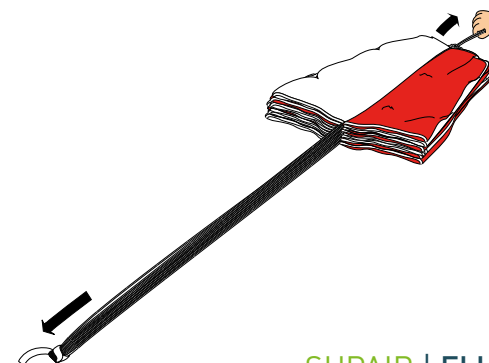
1. 準備

a. 以下にリストアップするパッキングに必要な道具を予め用意しておきます。

- 開いたレスキューパラシュート
- 長さ30~50cmほどの細紐
- ライザーを固定するためのアンカーポイントと接続金具
- 大型クリップまたはサンドバラスト、重い本等
- ラインまとめようゴム輪
- 適当な太さと長さの丸棒(あるいは鉛筆)
- インナーコンテナ



b. パラシュート全体にテンションをかけられるようにパラシュートをアンカーポイントに接続します。



1. 準備(続き)

c. パラシュートが乱れていないことを確認します。

ライザーからキャンピー(傘体)のリーディングエッジまでラインがねじれたり結び目ができたりしていないことを確認します。



キャンピーを左右に振り分けます(片側に12本のサスペンションラインが来るように)。アペックスラインはそれらの中央に来るようにします。

パラシュートを床に置きます。

12本のサスペンションライン

12本のサスペンションライン

アペックスライン



d. NO1. パネルを引き出し床に置きます。

四角形の赤いパネルに隣り合う白いパネルのどちらかを選択してください(どちらを選んでもかまいません)。



2. 引き綱を集める

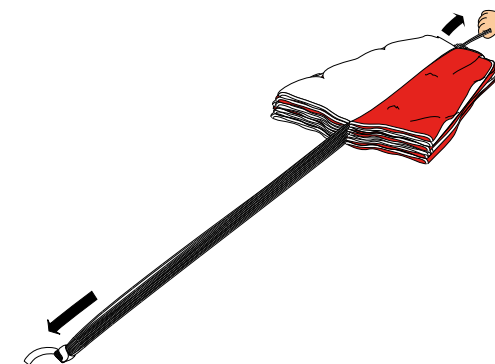
- a. 細紐を最初のパネルの引き綱に通します。
- b. リーディングエッジに沿って次のサスペンションラインを探し、その部分のパネル縫製部に沿って傘体上部に上って次の引き綱を見つけ細紐を通します。
- c. 同様にして順々に24本の引き綱に細紐を通しまとめます。
- d. パラシュートに緩やかなテンションをかけます。



引き綱はキャンピーに取り付けられたループです



次にこれ以降の作業中、引き綱がまとまった状態を保持するようにしっかりとテンションをかけておきます。



3. パネルをたたむ

パネルをたたむ作業中、引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

a. NO.1パネルを引き出したたみます。

このパネルは白色で赤色の四角形のパネルに隣り合わせに縫製されています。たたみマークを利用してこのパネルを四角形に床に広げます。

リーディングエッジ
を揃えます



最初のパネル
を広げます

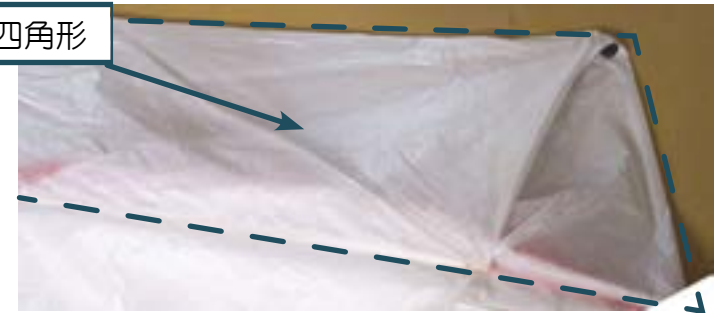


b. リーディングエッジに沿って2番目のパネルを引き出します。このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にa.で広げたパネルの上に重ねます。



たたみマーク

四角形



c. 同様にリーディングエッジに沿って3番目のパネルを引き出します。

このパネル(白色)は角度付きのパネルでたたみマークを使用して2ステップでW型にたたみます。



3. パネルをたたむ(続き)

d. 同様に4番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)は角度付きのパネルでたたみマークを使用して2ステップでW型にたたみます。



余ったクロス
口スを押し
し込む



角度付きパネルをたたむ際
に、余ったクロスをパネル内
側にきれいに押し込むよう
に注意してください。

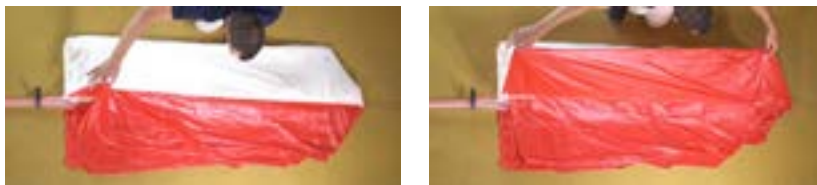
e. 同様に5番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にたたみます。

f. 同様に6番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にたたみます。

>これでパラシュートの一辺がたたまれました。同様にステップaからfに従って残りの
三辺もたたみます(後半の二辺は赤いパネルになります)。



たたまれたパラシュート



4. パラシュートを二つに振り分けます。

引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

以下に示す方法でパラシュートを左右対称になるように振り分けます。赤いパネル群が一方に、白いパネル群がもう一方に来るように。

前述したたたみ方の逆を半分のパネルに行って、パラシュートを半分ずつ左右対称に振り分けます。

まず赤い四角形のパネル(1枚目)をひっくり返し、次に赤い四角形のパネル(2枚目)、赤いW型にたたまれたパネル(3枚目)、赤いW型にたたまれたパネル(4枚目)、赤い四角形のパネル(5枚目)、赤い四角形のパネル(6枚目)とひっくり返し、さらにもう6枚のパネルをひっくり返します。

最初の白いパネルが見えたらそこで終了です。



左右同じ数のパネルが振り分けられていればOKです。



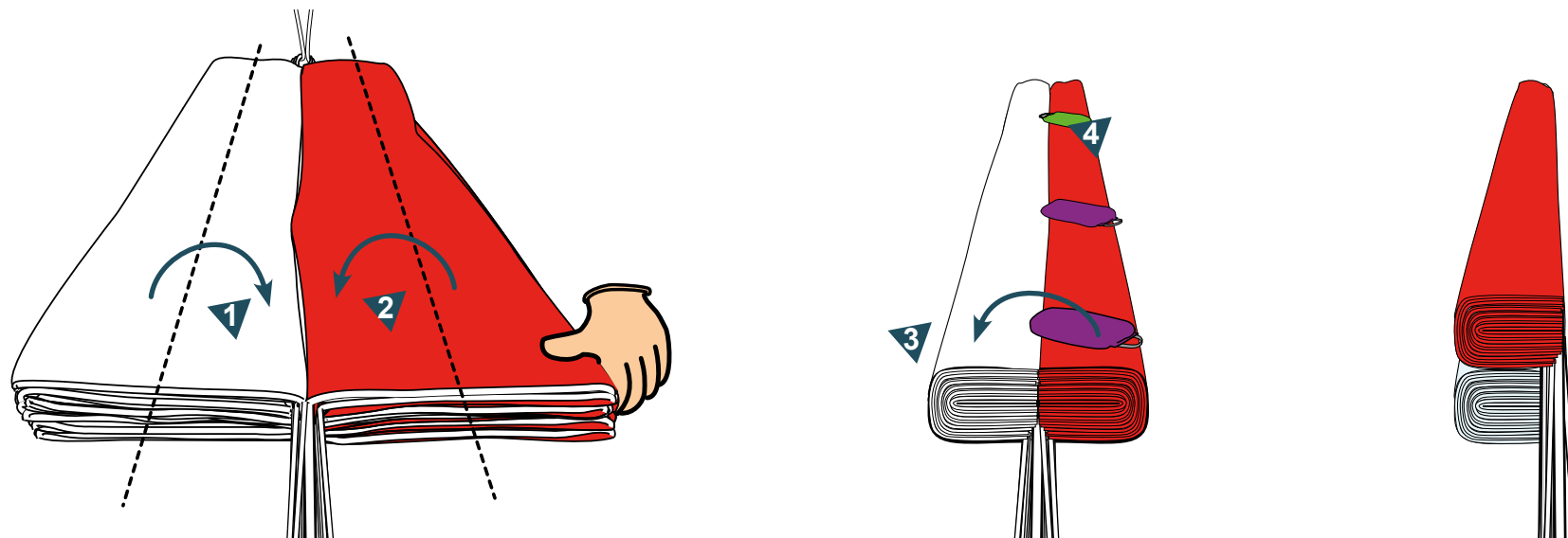
5. パラシュートをたたむ

引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

a. 左右両サイドのパネル群をそれぞれ二つ折りにします。次に一方の側を他方の上へのセインナーコンテナの幅に合わせた大きさにします。



この作業中折りたたんだキャンピーが崩れないように大型クリップあるいはサンドバッグを使用します。



5. パラシュートをたたむ(続き)

引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

b. キャンピーを蛇腹折りでたたみます。



幅を合わせる



すぐさま、必ず引き綱をまとめていた細紐を取り外す！

ステップ2において引き綱をまとめた細紐を完全に取り外します。



ソロ用レスキューのパッキング

6. パラシュートをインナーコンテナに収納する

a. インナーコンテナをパラシュートにかぶせ、全体をひっくり返します。キャンピーのリーディングエッジ側に後述する方法でまとめられたサスペンションラインを収納するためのスペースを空けておきます。

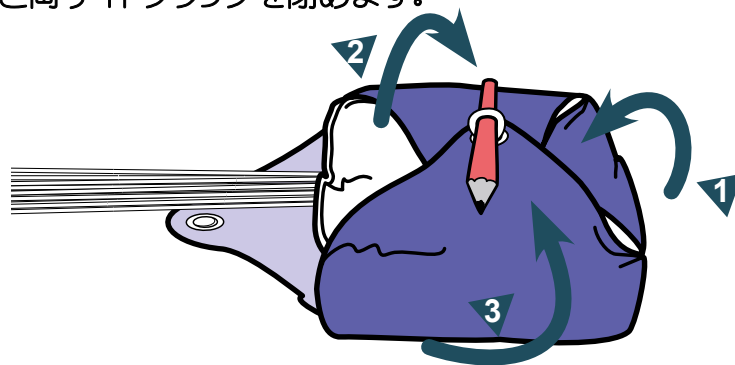


インナーのゴムループがサスペンションラインの反対側に来るようにします。



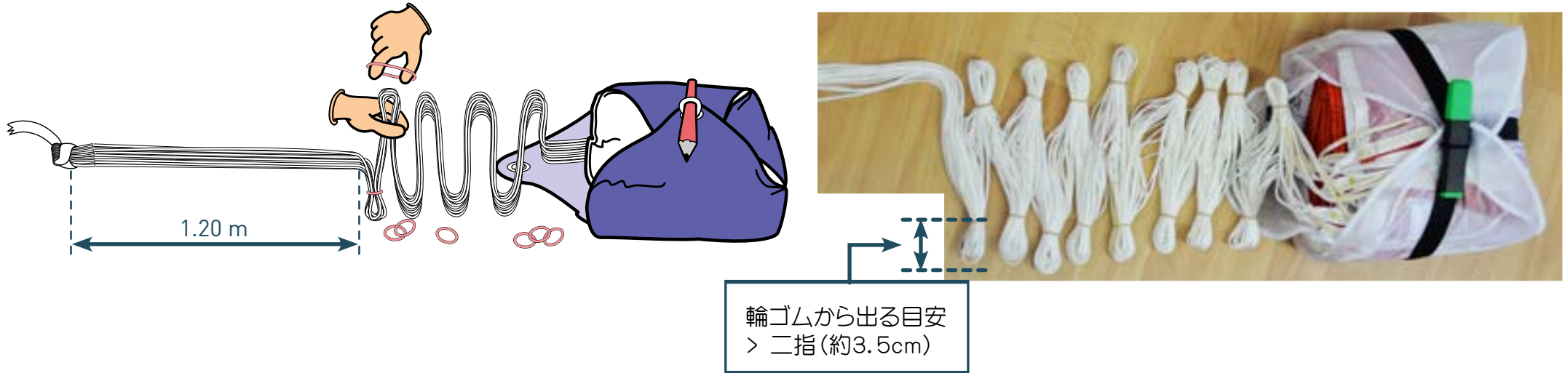
サスペンションラインを引っ張らないように注意してください。テンションがかかるよりは少々たるむくらいが理想的です。

b. インナーコンテナのボトムフラップと両サイドフラップを閉めます。

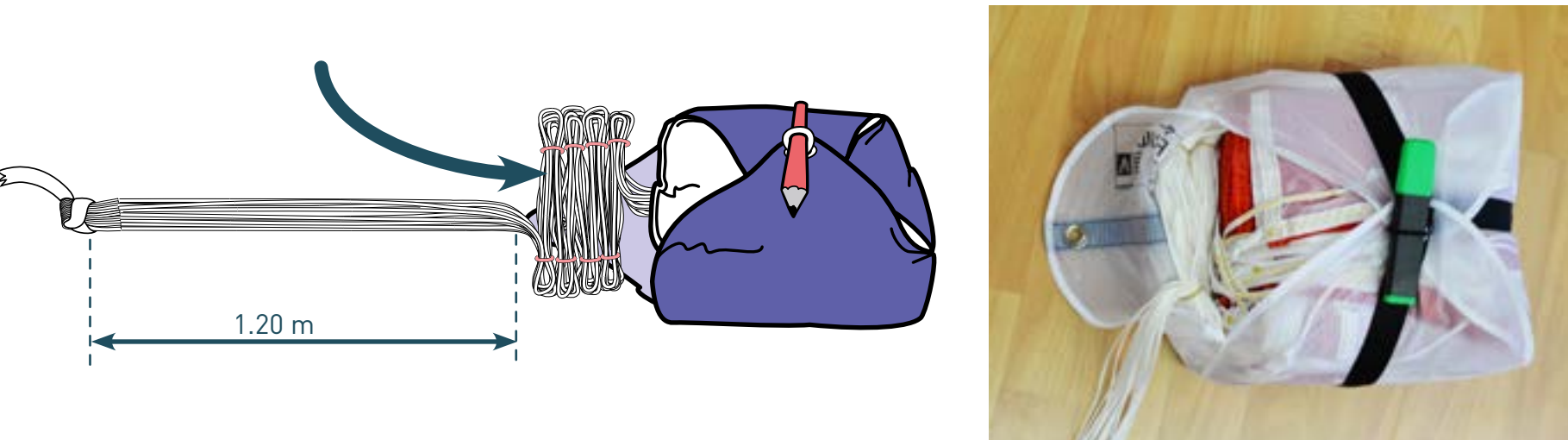


6. パラシュートをインナーコンテナに収納する(続き)

c. 1.2mほどを残しサスペンションラインをインナーコンテナの幅に合わせて8の字に折りたたみ、崩れないように輪ゴムでまとめます。



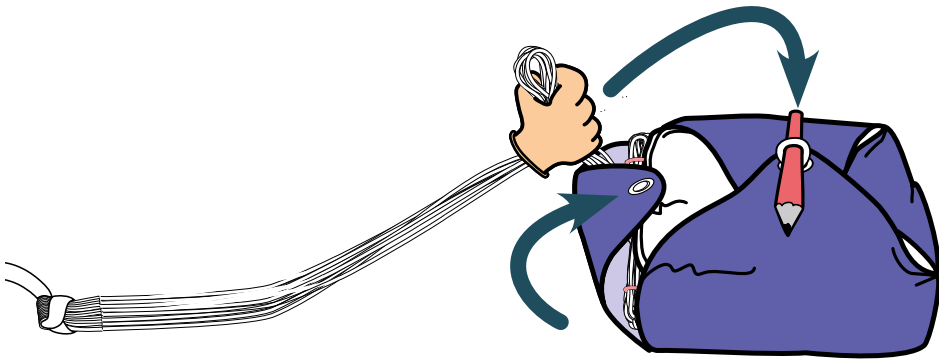
d. 1.2mほどを外側に残して、まとめられたサスペンションラインをインナーコンテナのそのために開けておいたスペースに収納する。



ソロ用レスキューのパッキング

7. インナーコンテナを閉める

a. 最後のフラップを閉め、残っているサスペンションラインをフラップ止めゴムループに3指(約5cm)ほど差し込みインナーコンテナを完全に閉めます。



約1mフリーなサスペンションライン



ゴムループから出る目安
>三指(約5cm)



パッキング作業の完了

b. リストアップされたパッキングに必要なものが目視確認され、いかなるものも間違っパッキングされたパラシュート内部に残っていないことを確認します。



レスキューパラシュートの使用方法並びにパッキングの仕方のビデオがホームページに掲載されています。

タンデム用レスキューのパッキング



レスキューパラシュートのパッキングはそれほど難しいものではありませんが、周到で正確なたたみ方が要求されます。自分自身でパッキングするのが不安であるなら、専門家あるいは適切な技能を持ったもののアドバイスを受けて下さい。

注意:パッキングする機会にレスキューパラシュートの引き出し試験をすることをお勧めします。

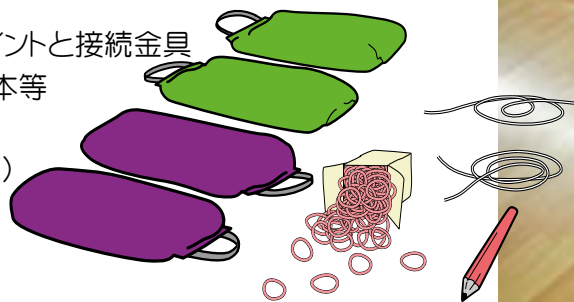
パッキングに際し、常に以下の事項に注意して下さい:

- 注意深く各ラインをキャンピーからライザーまで破損していないか確認。
- 最低でも12時間キャンピーを乾燥させる(直射日光やパラシュートを汚染するような化学物質が存在する場所を避けること)。
- キャンピー生地破損や汚染が無い確認。
- インナーおよびアウターコンテナの状態を確認。レスキューグルがインナーコンテナに正しく取り付けられているか確認。
- インナーコンテナのフラップ止め用ゴムループの状態を確認。(もし破損していたり、おかしいようなことを発見したら、専門の修理工場あるいはメーカーに送って検査を行って下さい。)

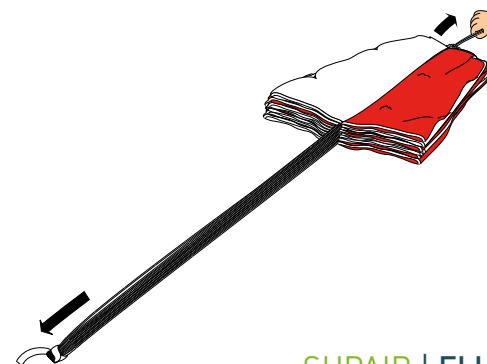
1. 準備

a. 以下にリストアップするパッキングに必要な道具を予め用意しておきます:

- 開いたレスキューパラシュート
- インナーコンテナのポケットに収納されたアペックス引き出し用ライン
- 長さ30~50cmほどの細紐
- ライザーを固定するためのアンカーポイントと接続金具
- 大型クリップまたはサンドバラスト、重い本等
- ラインまとめようゴム輪
- 適当な太さと長さの丸棒(あるいは鉛筆)
- インナーコンテナ



b. パラシュート全体にテンションをかけられるようにパラシュートをアンカーポイントに接続します。



1. 準備(続き)

c. パラシュートが乱れていないことを確認します。

ライザーからキャンピー(傘体)のリーディングエッジまでラインがねじれたり結び目ができたりしていないことを確認します。



キャンピーを左右に振り分けます(片側に18本のサスペンションラインが来るように)。アペックスラインはそれらの中央に来るようにします。

パラシュートを床に置きます。

18本のサスペンションライン

18本のサスペンションライン

アペックスライン



d. NO1. パネルを引き出し床に置きます。

四角形の赤いパネルに隣り合う白いパネルのどちらかを選択してください(どちらを選んでもかまいません)。



2. 引き綱を集める

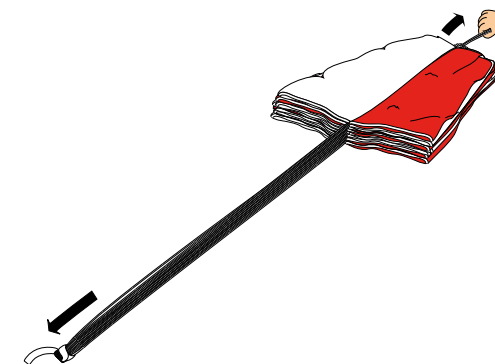
- アパックス引き出し用ラインをインナーコンテナのポケットから取り出します。
- そのラインをアパックスに取り付けられた引き綱に通します。
- そのラインの両端にあるループに細紐を通します。
- 次に最初のパネルの引き綱に細紐を通します。
- リーディングエッジに沿って次のサスペンションラインを探し、その部分のパネル縫製部に沿って傘体上部に上って次の引き綱を見つけ細紐を通します。
- 同様にして順々に33本の引き綱(32本+アパックスの1本)に細紐を通しまとめます。
- パラシュートに緩やかなテンションをかけます。



引き綱はキャンピーに取り付けられたループです



次にこれ以降の作業中、引き綱がまとまった状態を保持するようにしっかりとテンションをかけておきます。



3. パネルをたたむ

パネルをたたむ作業中、引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

a. NO.1パネルを引き出したたみます。

このパネルは白色で赤色の四角形のパネルに隣り合わせに縫製されています。たたみマークを利用してこのパネルを四角形に床に広げます。

リーディングエッジ
を揃えます



最初のパネル
を広げます

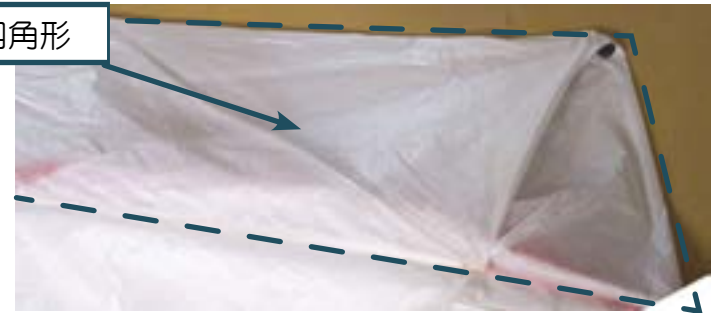


b. リーディングエッジに沿って2番目のパネルを引き出します。このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にa.で広げたパネルの上に重ねます。



たたみマーク

四角形



c. 同様にリーディングエッジに沿って3番目のパネルを引き出します。

このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にたたみます。



3. パネルをたたむ(続き)

d. 同様に4番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)は角度付きのパネルでたたみマークを使用して2ステップでW型にたたみます。



余ったクロス
を押し
し込む



角度付きパネルをたたむ際
に、余ったクロスパネル内
側にきれいに押し込むよう
に注意してください。

e. 同様に5番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)は角度付きのパネルでたたみマークを使用して2ステップでW型にたたみます。

f. 同様に6番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にたたみます。

g. 同様に7番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にたたみます。

h. 同様に8番目のパネルをたたみます。

このパネル(白色)はたたみマークを使用して1ステップで四角形にたたみます。

> これでパラシュートの一辺がたたまれました。同様にステップaからhに従って残りの三辺もたたみます(後半の二辺は赤いパネルになります)。



たたまれたパラシュート



4. パラシュートを二つに振り分けます。

引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

以下に示す方法でパラシュートを左右対称になるように振り分けます。赤いパネル群が一方に、白いパネル群がもう一方に来るように。

前述したたたみ方の逆を半分のパネルに行って、パラシュートを半分ずつ左右対称に振り分けます。

まず赤い四角形のパネル(1枚目)をひっくり返し、次に赤い四角形のパネル(2枚目)、赤い四角形のパネル(3枚目)、赤いW型にたたまれたパネル(4枚目)、赤いW型にたたまれたパネル(5枚目)、赤い四角形のパネル(6枚目)、赤い四角形のパネル(7枚目)、赤い四角形のパネル(8枚目)とひっくり返し、さらにもう8枚の赤いパネルをひっくり返します。

最初の白いパネルが見えたらそこで終了です。



左右同じ数のパネルが振り分けられていればOKです。



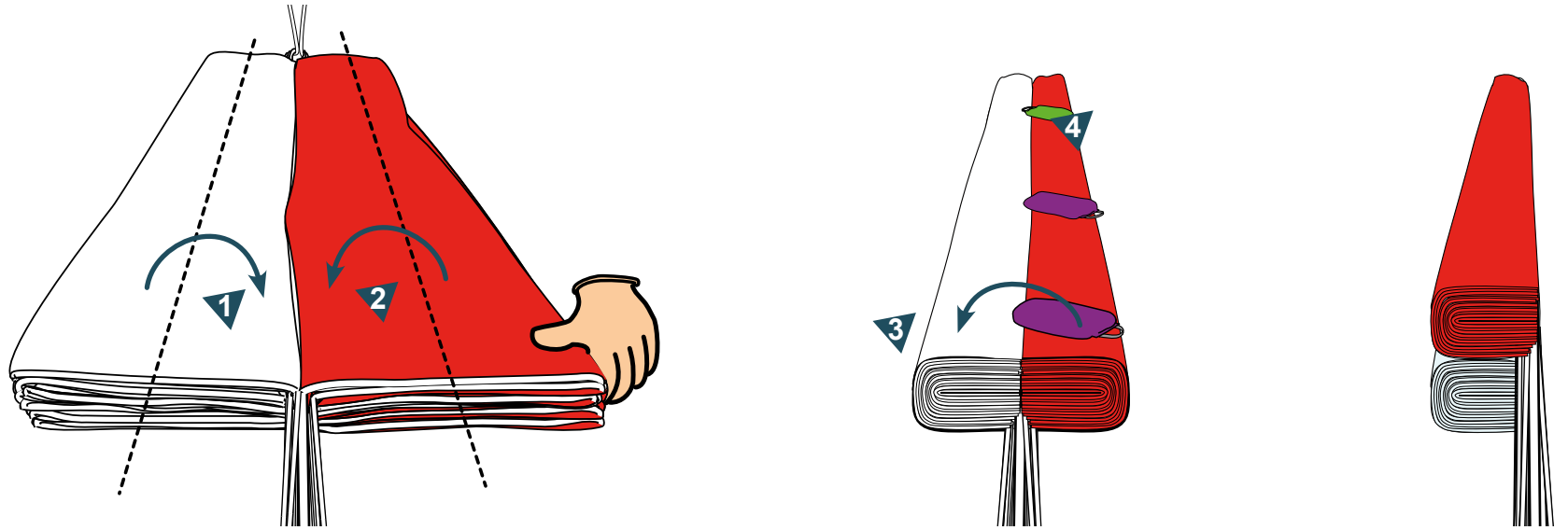
5. パラシュートをたたむ

引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

a. 左右両サイドのパネル群をそれぞれ二つ折りにします。次に一方の側を他方の上へのせレスキューインナーの幅に合わせた大きさにします。



この作業中折りたたんだキャンピーが崩れないように大型クリップあるいはサンドバッグを使用します。



5. パラシュートをたたむ(続き)

引き綱がまとまった状態を保持するように細紐にテンションをかけ続けるように注意してください。

b. キャンピーを蛇腹折りでたたみます



すぐさま、必ず引き綱をまとめていた細紐を取り外す！

ステップ2で取り付けしたアペックス引き出し用ラインを取り外し、インナーコンテナのポケットに収納します。



タンデム用レスキューのパッキング

6. パラシュートをインナーコンテナに収納する

a. インナーコンテナをパラシュートにかぶせ、全体をひっくり返します。キャンピーのリーディングエッジ側に後述する方法でまとめられたサスペンションラインを収納するためのスペースを空けておきます。

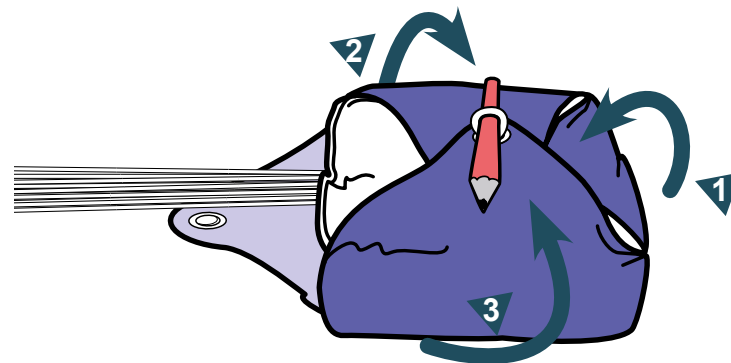


インナーのゴムループがサスペンションラインの反対側に来るようにします。



サスペンションラインを引っ張らないように注意してください。テンションがかかるよりは少々たるむくらいが理想的です。

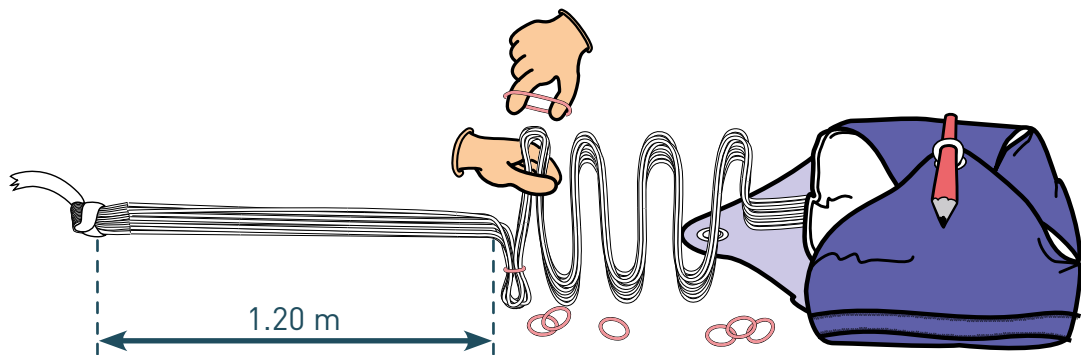
b. インナーコンテナのボトムフラップと両サイドフラップを閉めます。



タンデム用レスキューのパッキング

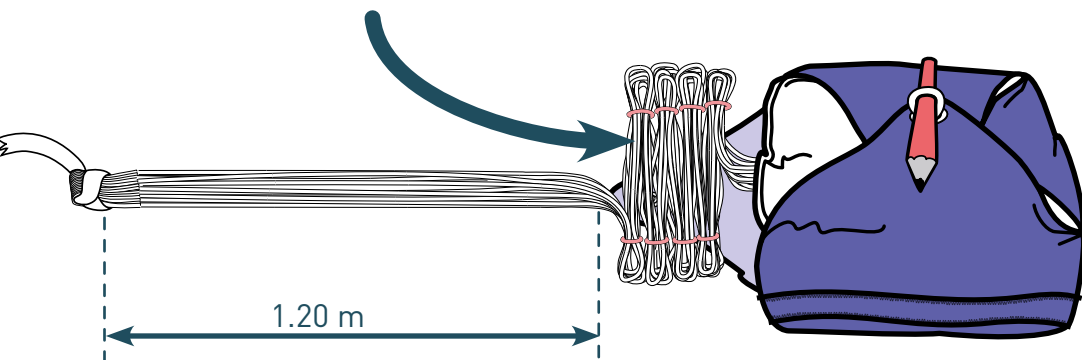
6. パラシュートをインナーコンテナに収納する(続き)

c. 1.2mほどを残しサスペンションラインをインナーコンテナの幅に合わせて8の字に折りたたみ、崩れないように輪ゴムでまとめます。



輪ゴムから出る目安
> 二指(約3.5cm)

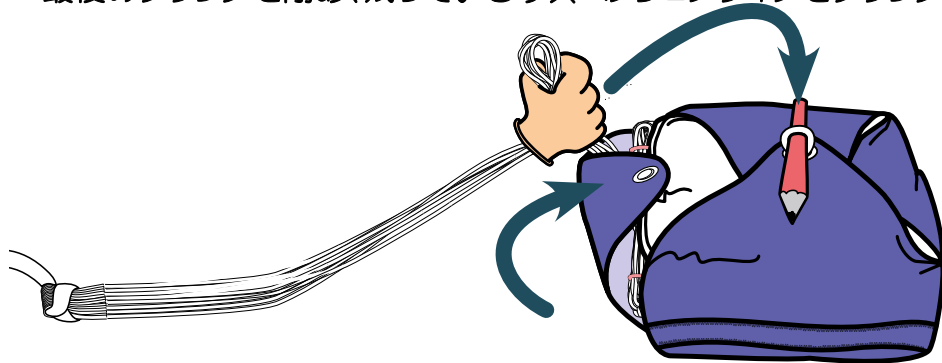
d. 1.2mほどを外側に残して、まとめられたサスペンションラインをインナーコンテナのそのために開けておいたスペースに収納する。



タンデム用レスキューのパッキング

7. インナーコンテナを閉める

a. 最後のフラップを閉め、残っているサスペンションラインをフラップ止めゴムループに3指(約5cm)ほど差し込みインナーコンテナを完全に閉めます。



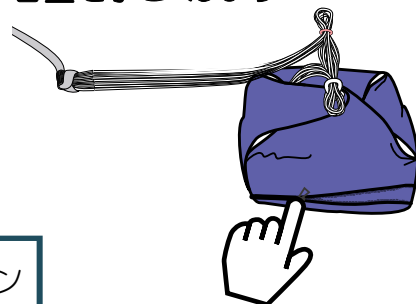
ゴムループから出る目安
> 三指(約5cm)



b. インナーコンテナ周辺のファスナーを閉めてレスキューの容量を小さくします。

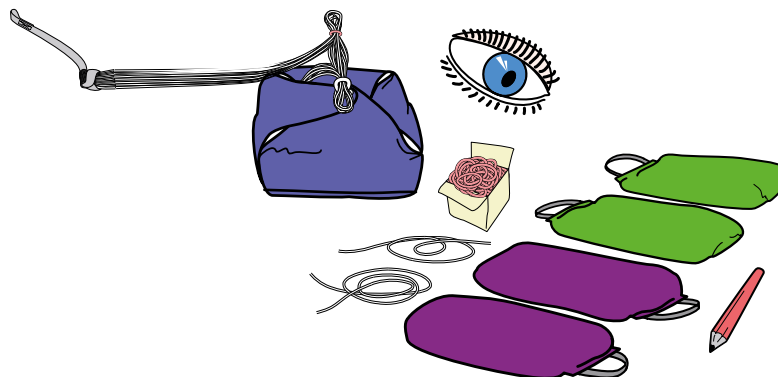


約1mフリーなサスペンションライン



パッキング作業の完了

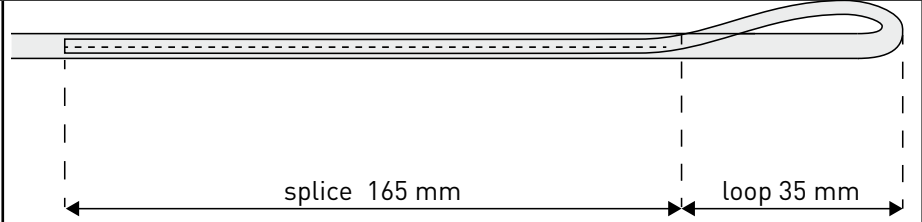
c. リストアップされたパッキングに必要なものが目視確認され、いかなるものも間違っパッキングされたパラシュート内部に残っていないことを確認します。



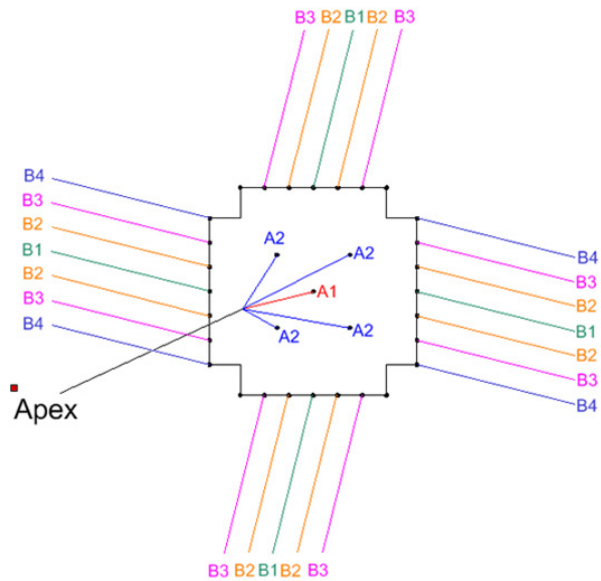
レスキューパラシュートの使用方法並びにパッキングの仕方のビデオがホームページに掲載されています。

フルードライト Sサイズ ライン長

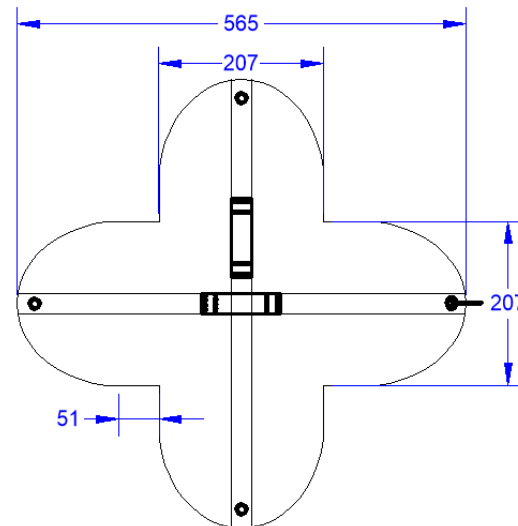
* カット長は5kgのテンションをかけて測定

ライン番号	カット長	縫製長	ライン本数	ライン素材		
B1	4175	3865	4	Liros DC201		
B2	4210	3900	8			
B3	4315	4005	8			
B4	4480	4170	4			
A1	2060	1750	1			
A2	2380	2070	4			
Apex	2875	2475	1	Cousin 2411	2 times 250 mm extra length (50 mm loop + 200 mm splice)	

ラインレイアウト



インナーコンテナー Sサイズ

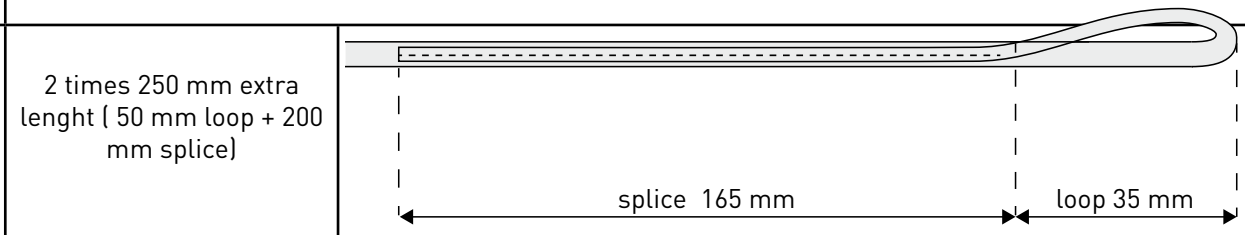


Material: PORCHER SKYTEX27 WHITE

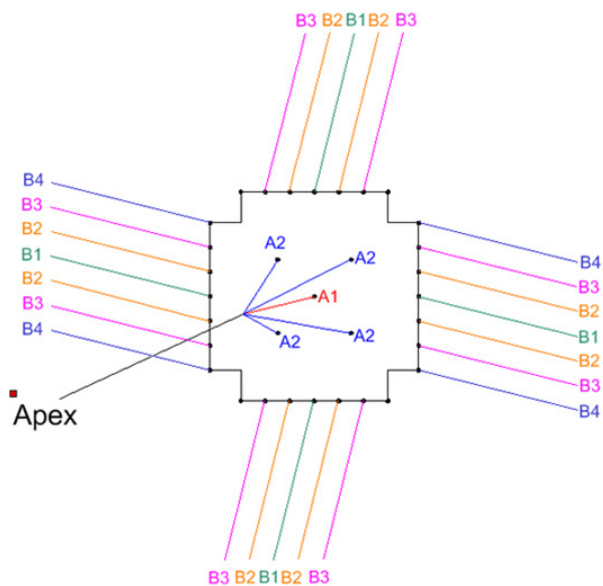
フルードライト Mサイズ ライン長

* カット長は5kgのテンションをかけて測定

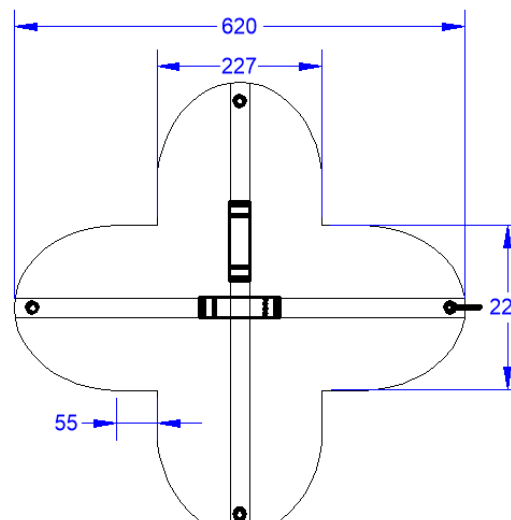
ライン番号	カット長	縫製長	ライン本数	ライン素材
B1	4550	4240	4	Liros DC201
B2	4590	4280	8	
B3	4700	4390	8	
B4	4885	4575	4	
A1	2230	1920	1	Liros 00099-1192
A2	2580	2270	4	
Apex	3115	2715	1	Liros 00099-1629



ラインレイアウト



インナーコンテナー Mサイズ

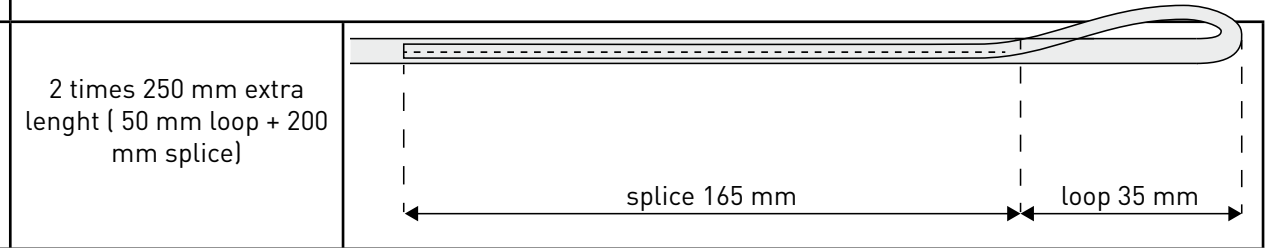


Material: PORCHER SKYTEX27 WHITE

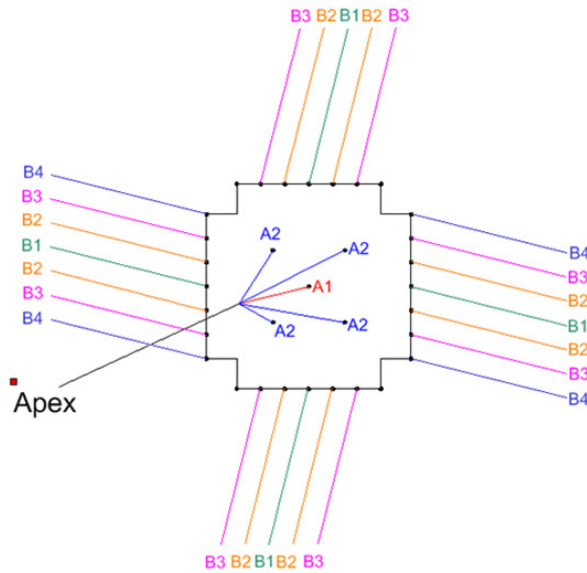
フルードライト Lサイズ ライン長

* カット長は5kgのテンションをかけて測定

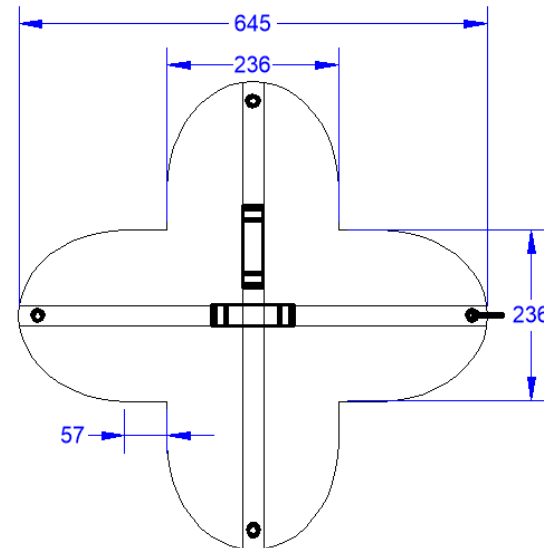
ライン番号	カット長	縫製長	ライン本数	ライン素材
B1	4925	4615	4	Liros DC201
B2	4965	4655	8	
B3	5090	4780	8	
B4	5290	4980	4	Liros 00099-1192
A1	2395	2085	1	
A2	2780	2470	4	
Apex	3350	2950	1	Liros 00099-1629



ラインレイアウト



インナーコンテナー Lサイズ



Material: PORCHER SKYTEX27 WHITE

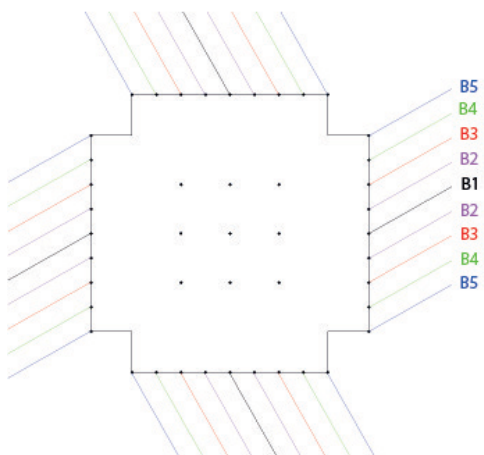
フルードライト タンデムサイズ ライン長

* カット長は5kgのテンションをかけて測定

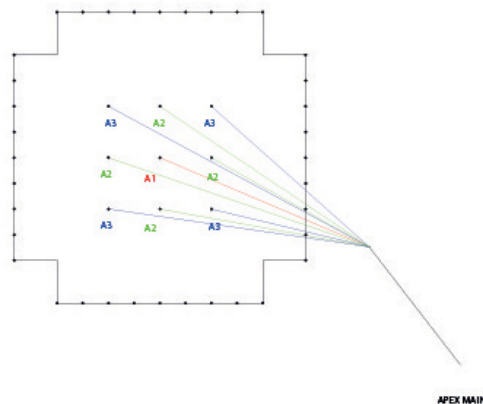
ライン番号	カット長	縫製長	ライン本数	ライン素材	
B1	7055	6745	4	Liros DC201	
B2	7090	6780	8		
B3	7185	6875	8		
B4	7345	7035	8		
B5	7560	7250	4		
A1	3370	3060	1	Liros	
A2	3645	3335	4	00099-1192	
A3	3900	3590	4	Liros DC201	
Apex	4690	4290	2	Liros 00099-1629	

ラインレイアウト

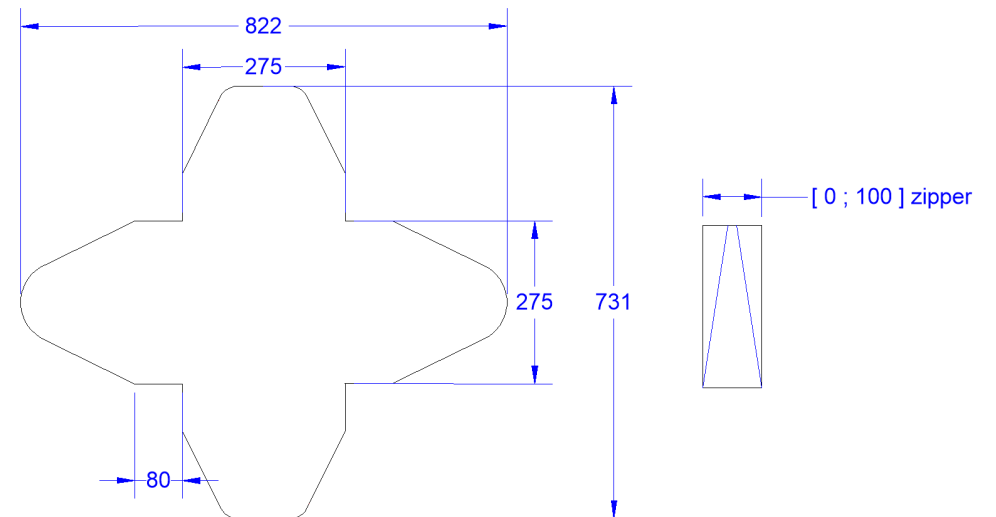
SUSPENSION LINES LAYOUT



APEX LINES LAYOUT



インナーコンテナ タンデムサイズ



保守

湿った場合は、バクテリアあるいはカビなどが繁殖しないようにすぐに乾燥させなければなりません。ガソリンその他の溶剤、化学物質はレスキューパラシュートの強度を著しく阻害し危うくします。もしそのような状況になったら、メーカーあるいは専門工場で検査をしなければなりません。インナーコンテナは、パラシュートを抜いた状態で水と弱めの洗剤で洗い、良くすすいで乾燥させることは出来ます。パラシュートおよびラインは、水だけを使用して下さい。

保管および運搬

レスキューパラシュートを使用しないときは、乾燥し涼しく、清潔で紫外線にさらされない場所に保管して下さい。
運搬する際にはレスキューパラシュートがこすられたり、紫外線にさらされたりしないように注意してください(保護用バッグを使用する)。
湿気の多い状況下で長時間の運搬をしないように。

リパック頻度

速い開傘速度とパラシュートを良い状態に保つために、6か月ごとにリパックする必要があります。

耐用年数

メーカーの指示に従って適切に仕様・保管されれば10年は耐用するようにデザインされています。それ以上たったものはメーカーあるいは専門工場での綿密な検査が必要です。また定期的にレスキューパラシュートを使用した場合には、このような綿密な検査を定期的にするように推奨します。

リサイクル

我々の使用する全ての素材は、その優れた技術的性能及び環境への優しさから特別に選択されています。このレスキューパラシュートを製造するために使用される素材はどれも環境に害を与えないものです。その素材の大部分はリサイクル可能なものです。あなたの古くなったレスキューパラシュートを一般ごみとして廃棄するのではなく専門のリサイクル業者に相談するようにお願いします。あるいは、スプエアーのディーラーに持ち込んでそこからスプエアーに送ることも可能です。

修理

高品質の素材を使用していますが、パラシュートは使用しているうちに劣化する可能性があります。何がしらかの摩耗や裂け目などの兆候が見られたら認定された専門家による検査/修理を実施する必要があります。

交換部品

- ソロ用あるいはファスナー付きタンデム用インナーコンテナ。

素材

> ライン

ライロス製 DC201
ライロス製 00099-1192
ライロス製 00099-1629
クーザン製 2411

> クロス

ポルシェ製 PN9

スップエアーはその製品の設計・製造に特に気を付けています。従って通常の使用において発生した不具合および設計上の欠陥に対し、購入日から5年間保証致します。過度あるいは間違った使い方、また高温、強烈な太陽光、高湿度などの過激な状況下に晒されたりした場合は、その結果としてダメージが誘発されるので、この保証は無効となります。

免責条項



パラグライディングは、注意深さ、特別な知識と適切な判断を必要とする厳しいスポーツです。慎重に、認可を受けた専門のスクールで正しい練習をし、保険をかけ、あなた自身の技術レベルを正しく把握し、無理なくフライト出来るコンディションでのみフライトをして下さい。フライトするのはあなたで、責任は全てあなた自身にあります。従ってスップエアー、輸入代理店、ならびにスクール・ショップはフライトに起因する事故に対しての責任を負うことは出来ません。この取扱説明書に説明されている使用方法以外あるいは取り付け方(特にスップエアー専用のインナーコンテナ以外を使用すること)に対してもスップエアーは責任を負うことは出来ません。



このレスキューパラシュートは、パラグライダー専用としてデザインされています。その他(スカイダイビング、ベースジャンピングなど)に使用することは完全に禁止されています。

フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

環境への配慮

パラグライディングはアウトドアスポーツです。あなたがフライトする環境に対してあなたは責任があります。従って以下の事柄に注意を払ってください:

- * その場所の動植物を尊重する
- * ゴミを地面に捨てない
- * 不必要な音を立てない

これらの単純なルールを守ることで我々の環境とパラグライディング活動を保存することが出来ます。

このページをあなたのフルードライトの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付	
購入者氏名	
販売店名・印	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	



SUPAIR

L I F E I S I N T H E A I R

SUPAIR

Parc Altaïs

34 rue Adrastée

74650 Chavanod, Annecy

FRANCE

info@supair.com

+33(0)4 50 45 75 29

45°54.024'N / 06°04.725'E



輸入者 ファルホークインターナショナル株式会社
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email:info@falhawk.co.jp